

(上田保健所管内に所在する)
高等学校長 様

上田保健福祉事務所長
(上田保健所長)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のための取組の再確認について (依頼)

日頃新型コロナウイルス感染症の感染防止のための取組につきまして、特段の御配慮をいただき誠にありがとうございます。

標記につきましては、当所が調査・確認した「高校生活等の中で生じるリスク、感染事例」について、2月に情報提供させていただき、貴校の学生に対して「感染防止のための行動」を呼びかけていただいたところでもあります。

そのお陰もあり、その後当所管内における高校生の発生は比較的少ない状況ではありましたが、新学期が始まり、新入生の入学、進級など、学校活動、部活動、学生同士の学内・学外での交流の活発化等もあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のリスクが高まる心配な状況となっています。

御承知のとおり新型コロナウイルス感染症は、人の動きや、人の交流が活発になる程、発生が拡大する傾向にあります。当所管内におけます新型コロナウイルス感染症の発生状況も、年末年始や年度切り替わり期に増加する等同様の傾向にありました。さらに当地域では発生数は減っても、途切なく続くという傾向があると同時に、先日は「変異株」の発生もありましたので一層の注意が必要です。

このため繰り返しにはなりますが、感染事例等について、改めて情報提供させていただきますので、お手数ではありますが、貴校の学生に対し、家族を含め大切な人の命を守り、感染リスクを減らすため、「感染防止のための慎重な行動」を再度呼びかけていただきますよう、お願い申し上げます。

記

1 高校生活等の中で生じるリスク・感染事例と防止策について

(1) 昼食時のリスク

昼食の弁当を、気の合う仲間ですべてを囲み、向かい合って、集まって食べている事例が散見されました。

食事の際は、マスク等の感染防止策が取りにくく、距離も近いことから、リスクが高まります。さらに会話も弾み、「懇親会」や「大人数の飲食・会食」にも準ずる状態となることもあり、一層リスクが高まります。

【どうすれば？ (感染防止策など)】

- ・食事中は黙って食べる (“楽しい会話” は食事後マスクをして)
- ・クラスの移動はしない、距離は離し、向かい合いには座らない、換気をする

(2) 友人が集まったの勉強会や交遊によるリスク

友人宅に集まったの勉強会や会話、街での交遊、カラオケ等の事例が散見されました。学校に居た時とは「居場所が切り替わり」、気の緩みや、マスクなしでの会話、距離が近くなる、時間が長くなる、声が大きくなる、さらに「狭い空間」の場合もあり、感染リスクが高まります。

【どうすれば？（感染防止策など）】

- ・居場所が替わっても、手洗い・手指消毒や、基本的な感染防止策（マスクの着用、人と人との距離の確保、3密を避ける、大声を出さない）を常に忘れずに。
- ・カラオケなどマスクなしでの会話、交流はしない。

(3) 同居する高齢者や病気のある人に感染させるリスク

同居家族に高齢者や病気のある人がおられ、学生と仲も良く、食事や会話など密な関係がある事例が散見されました。

高齢者や病気のある人は、病気が重くなる傾向があります。大切な祖父、祖母を守るため、感染させないよう特に気をつけてください。

【どうすれば？（感染防止策など）】

- ・帰宅時の手洗い、手指消毒、ドア等皆が触る場所の定期的な消毒、換気
- ・家の中でも基本的な感染防止策を続ける
- ・軽微であっても、咳、発熱等の風邪症状がある時は、接触を避ける
- ・家でもマスクを着ける
- ・症状が治まってからも、1週間程度は接触を避ける
- ・お互いの部屋から、SNSや携帯での会話などの工夫も

(4) 家族から感染するリスク

県外で生活していた家族の帰省や、同居家族が会食等に参加し、後日当該家族が陽性者となり、家庭内で接触のあった学生も感染者となる事例が散見されました。

接触の際、当該家族が無症状であり、感染対策が取られていなかった事例もあります。

【どうすれば？（感染防止策など）】

- ・家族の皆さんも、職場や学校など社会生活を送る中で常に感染リスクがあります。家庭内であっても、お互いに「感染しているかも知れない」と考え、感染対策をする必要があります。
- ・特に県をまたいで移動があった者、「感染リスクが高まる『5つの場面』」にいた者とは、2週間は接触を最小限にするとともに、当該者の体調管理にも注意する必要があります。

2 資料について

『感染リスクが高まる「5つの場面」』など、国、県の資料を添付しますので、周知等の参考にしてください。

なお当所のホームページにも新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する資料の掲

載、リンク等を貼ってありますので、ご覧ください。

検索／上田保健福祉事務所

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/index.html>

3 留意事項

(1) 変異株について

“感染力が強い”と言われている変異株による感染事例が上田地域を含め、県内でも増えています。一層の用心、慎重な行動が望まれます。

(2) 症状について

若い者は“比較的症状は軽い”と言われてはいます。しかしながら疾病、症状への感じ方は人それぞれです。“軽症”であっても辛いと感じる方もいます。

また症状が長引く、感染が陰性になってからも後遺症が続く等の方もいます。まだまだ未知の病気です。

学生の皆様には、大切な学生生活を、元気に、楽しく過ごしていただきたいと思えます。そのためにも十分な感染防止への取組をお願いします。

長野県上田保健福祉事務所(保健所)

副所長 三井一孝 健康づくり支援課長 中澤文子

電話 0268-25-7147(直通)

FAX 0268-23-1973

E-mail uedaho-somu@pref.nagano.lg.jp